I-O DATA

ネットワーク HDD

HDL4-XA-Uシリーズ

初回設定マニュアル

すぐ取り出せる場所に保管してください





MANU000945

使う前に

基本的な使い方

便利な使い方

ランプと対弧

注意事項など	使う前に	
木製品を使う上でお守りい	本製品の使用目的	3
	使用説明の構成	
	安全のために	4
必ずお読みください。	使用上のご注意	6
	添付品を確認する	8
	交換用カートリッジ、対応外付 HDD/UPS	9
	各部の名称・機能	

初期設定	基本的な使い方	
本製品の設置・導入方法です。	ステップ1:設置し、電源を入れる	13
本表品の改画、毎八月本です。	ステップ2:初回設定をする	20
	ステップ 3:アクセス権を設定する	29
	パソコンからアクセスする	
	データを守る (バックアップ)	
	データを守る(ゴミ箱機能)	

詳細設定	便利な使い方
その他の設定です。必要に応	機能を追加する(アドオンパッケージ)
じてご確認ください。	機能一覧

故障時の対応・資料 故障時の対応や、その他本製	ランプと対処 故障と思ったら
品の資料情報です。	資料
必要に心じてこ寛ください。	ダウンロードできるソフト47
	アフターサービス48
	ハードウェア保証規定50

ハードウェア保証書......巻末

使う前に

本製品の使用目的

本製品は、ネットワーク HDD/SSD(NAS)です。 データファイルを本製品に保存し、ネットワーク上で共有できます。 ※本製品は屋外に設置しないでください。

使用説明の構成

本製品の使用説明には、次のものがあります。

◇初回設定マニュアル(本書) 本製品の初回設定方法、故障時の対応を説明しています。

◇詳細ガイド (Web)

バックアップ設定など、その他の設定について説明しています。 詳細ガイドは、本製品の設定画面左上の [マニュアル] から開くことができます。



最新のマニュアルは、弊社サポートライブラリでご覧いただけます https://www.iodata.jp/p/230844

上記にアクセスしてください。 スマートフォンなどでも閲覧できます。⇒ ※上記は HDL4-XA4-U のページですが、マニュアルの内容はシリーズ共通です。



安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいた だくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守り ください。

▼警告・注意表示

	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重症を負うことがあります。
注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

▼絵記号の意味







|使用上のご注意

≪重要≫データバックアップのお願い

本製品は精密機器です。突然の故障等の理由によってデータが消失する場合があります。

万一に備え、本製品内に保存された重要なデータについては、必ず定期的に「バッ クアップ」をおこなってください。

本製品または接続製品の保存データの破損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。また、弊社が記録内容の修復・復元・複製などをすることもできません。なお、何らかの原因で本製品にデータ保存ができなかった場合、いかなる理由であっても弊社は一切その責任を負いかねます。

バックアップとは

本製品に保存されたデータを守るために、別の記憶媒体(HDD・BD・DVD など)にデータの複製を作成することです。(デー タを移動させることは「バックアップ」ではありません。同じデータが 2 か所にあることを「バックアップ」と言います。) 万一、故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータを使えますので安心です。不測の事態 に備えるために、必ずバックアップを行ってください。

▶ バックアップ方法については、【データを守る(バックアップ)】(33ページ)をご覧ください。

最新のファームウェアをご利用ください

本製品のハードウェア保証適用のために、ファームウェアまたはソフトウェアは 常に弊社が提供する最新版にアップデートしてご利用ください。最新版でない場 合、保証適用を受けられない場合もあります。 【ファームウェアの更新について確認する】(28ページ)

本製品を廃棄や譲渡などされる際のご注意

- ハードディスクに記録されたデータは、OS上で削除したり、ハードディスクを フォーマットするなどの作業をおこなっただけでは、特殊なソフトウェアなど を利用することで、データを復元・再利用できてしまう場合があります。その 結果として、情報が漏洩してしまう可能性もありますので、情報漏洩などのト ラブルを回避するために、データ消去のソフトウェアやサービスをご利用いた だくことをおすすめします。
- ※ハードディスク上のソフトウェア(OS、アプリケーションソフトなど)を削除することなくハードディス クを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。
- NarSuS に登録している場合は、製品登録情報を削除してください。
- •本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

使う前に

基本的な使い

方

便利な使い方

ランプと対処

資料

本製品はローカルネットワーク上でご利用ください

本製品にグローバル IP アドレスを割り当て、直接インターネットに公開すると非常に危険です。

ルーターを設置するなどして、インターネットから攻撃を受けないようにするな ど、お客様にてセキュリティ確保をお願いいたします。

お手入れについて

本製品についた汚れなどを落とす場合は、本製品の電源を切り、電源コードを抜いてから、柔らかい布で乾拭きしてください。

- •汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布をひたして、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に乾いた布で拭く。
- ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使わない。変質 したり、塗装をいためたりすることがあります。
- •市販のクリーニングキットは使わない。

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。 この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

添付品を確認する

□ 電源コード (1本)

□ AC プラグ変換アダプター (1 個)

□ LAN ケーブル(2 本)

□ USB ロックキーシール (2 枚)

□マスターキー保存用 USB メモリー (1本) ※本製品の暗号化機能を利用する際に使用します。詳しくは、『詳細ガイド』(Web) をご覧ください。

☑ 初回設定マニュアル (本書)

ラックマウントレール(1式)
 ※内容物は、【ラックマウントレール取り付け前の準備】(13ページ)をご覧ください。

ユーザー登録はこちら…https://ioportal.iodata.jp/

ユーザー登録にはシリアル番号(S/N)が必要となりますので、メモしてください。 シリアル番号(S/N)は本製品貼付のシールに印字されている 12 桁の英数字です。 (例:ABC1234567ZX)

|交換用カートリッジ、対応外付 HDD/UPS|

交換用カートリッジ

以下の弊社ホームページをご確認ください。 https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/nas_hdd.htm



使う前に

基本的な使い方

便利な使い方

ご注意

●交換用カートリッジには、システムはインストールされていません。

●拡張ボリューム(出荷時設定)で使っている場合、容量を後から増やすことができます。詳しくは、詳細ガイドをご覧

ください。(RAID 6、RAID 5、RAID 0 の場合は、本製品の容量をあとから増やすことはできません。)

● HDD カートリッジのみ使用できます。SSD カートリッジは使用できません。



対応外付 HDD

以下の弊社ホームページをご確認ください。 https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/hdd.htm

ご注意

●外付 HDD をはじめて本製品に接続して使用する場合は、必要に応じてフォーマットをおこないます。

資 料

対応 UPS

以下の弊社ホームページをご確認ください。 https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/ups.htm



各部の名称・機能

前面



1 HDD/SSD1 ランプ	青点灯	正常認識時	
2 HDD/SSD2 ランプ	青点滅	アクセス時	
3 HDD/SSD3 ランプ	赤点灯	エラー時	
◆ HDD/SSD4 ランプ	消灯	未接続時	
	I	クイックコピー機能を実行する際に押します。	
⑤ FUNC. ボタン		また、エラー発生時にブザーが鳴りつづけている時に押すと、ブザーを	
		停止します。	
\mathbf{A} CTATUC = $\mathbf{X} - \mathbf{P}$		本製品の状態を示します。	
OSTATUS 977		【故障と思ったら…】(41 ページ)をご覧ください。	
	消灯	コンセント未接続	
7 POWER ランプ	赤点灯	電源 OFF(コンセント接続済み)	
禄点灯		電源 ON	
		短押し(1 秒程度)→本製品の電源を ON/OFF します。	
8 POWER ボタン		※電源 ON の状態で 3 秒以上押し続けると強制電源 OFF になります。	
		3秒以上電源ボタンを押し続けないでください。	
		増設用 HDD などをつなぎます。(USB 2.0)	
9 USB ポート 1		クイックコピー機能で使用します。	
-		本製品の暗号化機能で使用します。	
HDD/SSD1			
HDD/SSD2		カートリッジを接続します。	
		脱着レバーは、カートリッジを取り出す際に利用します。	
B HDD/SSD4			



ファン		冷却用ファンです。ふさがないでください。			
2 AC-IN		添付の電源コードをつなぎます。			
3 USB ポート 3		増設用 HDD などを接続します。 (USB 3.1/2.0)			
		 ※ミラーリング機能のため、ミラーディスクをつなぎます。 (ミラーリングについては【詳細ガイド】(Web)参照) ※ RAID モードが拡張ボリュームの場合、USB HDD をつなぎ USB ポート 4 とペアを構成できます。 			
④ USB ポート 4		増設用 HDD などを接続します。 (USB 3.1/2.0)			
		※ RAID モードが拡張ボリュームの場合、USB HDD をつなぎ USB ポート 3 とペアを構成できます。			
●LAN ポート2 (1G)		添付の LAN ケーブルを接続します。本製品のデフォルトゲート			
-		ウェイ、DNS の設定は 1 つだけできます。			
6 USB ポート 2		増設用 HDD などを接続します。 (USB 2.0)			
7 LAN ポート1 (10G)		添付の LAN ケーブルを接続します。本製品のデフォルトゲート			
		ウェイ、DNS の設定は1つだけできます。			
		※最大 10Gbps(理論値)で通信するには、ネットワークが			
		10GbE に対応している必要があります。LAN ケーブルに			
		ついて、55m まではカテゴリー 6 で対応可能です。			
8 RESET スイッチ		IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻します。			
	黄点灯	1G			
SLAN Speed ランプ (TG)	消灯	100M/10M/ 未接続のいずれか			
	黄緑点灯	LINK 中			
❶ Link/Act ランプ (1G)		データを送受信中			
		未接続			
 ① LAN Speed ランプ (10G) 道緑点灯 道点灯 消灯 		10G			
		5G/2.5G/1G/100M のいずれか			
		未接続			
	黄緑点灯				
① Link/Act ランプ (10G) 黄緑点滅		データを送受信中			
消灯		未接続			

10

ランプと対処

資料

基本的な使い方

|ステップ1:設置し、電源を入れる

次の3ステップで、データをパソコンから本製品に保存し、他のパソコンと共有できるようになります。

【ステップ1:設置し、電源を入れる】(13ページ)

▼

【ステップ2:初回設定をする】(20ページ)

▼

【ステップ3:アクセス権を設定する】(29ページ)

使用環境例



ブロードバンドルーターなどの DHCP サーバー機能をご確認ください

事前にご利用のネットワーク環境で DHCP サーバー機能が有効になっていることをご確認ください。(ネットワーク管理者にご確認ください。)

DHCP サーバー機能が無効な場合は、本製品をネットワークに参加させるための適切な IP アドレスを取得し、 本製品に設定してください。

- ※ DHCP サーバーから自動取得できなかった場合、本製品の LAN 1 ポートの IP アドレスは 192.168.0.200 となります。
- ※ IP アドレスは、【ステップ2】で設定します。(【IP アドレスを固定設定する場合】(21 ページ)参照) ※一般的なブロードバンドルーターは DHCP サーバー機能が有効となっているため、IP アドレスの 設定は必要ありません。

動画でもご確認ください 弊社サポート Q&A にて、動画で説明しています。



https://www.iodata.jp/support/qanda/answer/s30919.htm

ラックマウントレール取り付け前の準備

- ラックマウントレール一式を確認する
 ●ラックマウントレール用内装箱
 □スライドレール (2本)
 ・ネジ袋内
 □M4x4ネジ (2本)
 □M5x10ネジ (2本)
 □ワッシャー (2個)
- 2 以下のものを準備する
 ●別途ご用意いただくもの
 □プラス(+)ドライバー □手袋
 ※ケガ防止のため、手袋の着用をおすすめします。

3 以下を確認する

・本製品の電源が OFF になっていること(POWER ランプが消灯) ・本製品の電源コードがコンセントから抜かれていること

上記を確認できたら取り付けます。次ページへお進みください。







以上で、ラックマウントレールの取り付けは完了です。 次ページへお進みください。

ラックから取り外す場合のご注意

レールを取り外す場合は、以下にご注意ください。

- ●最初に本製品を取り外します。本製品は、内側レールの白スライダーを引いて取り外します。
- ●内側レールのバネの箇所は手を挟みやすいのでご注意ください。取り外す際も手袋の着用をおすすめします。

つなぐ

設置時のご注意

●給電されている LAN ケーブル(Power over Ethernet)は絶対につながないでください。故障の原因になります。 ●側面・前面の吸気口、背面の排気口は塞がないように設置する。



電源コードフックの使い方
 電源コードが不意に抜けることを防ぐために、
 必ず電源コードフックをご利用ください。
 フックの輪の部分を出す際は、
 図のレバーを上げながら引き出します。



基本的な使い方

便利な使い方

使う前に

電源を入れる



電源を切る場合

ご注意

● STATUS ランプが消える前に、絶対に電源ケーブルを抜かないでください。故障の原因になります。 ● POWER ボタンを長押ししないでください。 強制シャットダウンになり、故障やデータ消失の原因となります。



STATUS ランプが点滅します。電源が切れるとランプが消灯します。

ご注意

●動作中に本製品のシャットダウンを完了せずに、電源を切らないでください。故障やデータ消失の原因と なります。特に、電源ケーブルを抜く、テーブルタップのスイッチを OFF にするなどにご注意ください。 電源の切り方については、【電源を切る場合】(19ページ)をご覧ください。

●出荷時設定でファームウェア、パッケージの「自動更新] 「更新通知] が有効のため、起動時にインターネッ トへ接続します。

STATUS ランプが点滅中にコンセントを抜かないでください

ファームウェア更新は起動中にはおこなわれませんが、ファームウェア更新がある場合には起動時間がかか る場合があります。

STATUS ランプが赤点灯し、「ピー」×3回鳴った場合

DHCP サーバーから IP アドレスを取得できていません。【IP アドレスが取得できていない場合】(43 ペー ジ)をご覧ください。

STATUS ランプが赤点滅した場合

【故障と思ったら…】(41 ページ)をご覧ください。

使う前に

方

便利な使い方

ステップ2:初回設定をする

導入用ソフトウェアをインストールする

弊社製アプリ「LAN DISK CONNECT」をインストールします。 下の Web ページにアクセスし、インストールしてください。

https://www.iodata.jp/r/5160

LAN DISK CONNECT とは?

● LAN DISK CONNECT でできること

- ・LAN DISK の共有フォルダーを開く
- ・LAN DISK の設定画面を開く
- LAN DISK CONNECT のインストールによる変化
- ・デスクトップに [LAN DISK] のショートカットが作られます。
- ・エクスプローラーに「LAN DISK」項目が追加されています。
- ※(Windows のみ)「Office アドインをインストールしますか?」と表示された場合は、Microsoft Office 2013 以降がインストールされていれば、「はい」をクリックしてください。 Office の保存場所として「LAN DISK」を追加します。

その他詳しくは、LAN DISK CONNECT のヘルプをご覧ください。 LAN DISK CONNECT 起動後にメニューの「ヘルプ」をクリックすると参照できます。 スマートフォンからも参照できます。



インターネットに接続できない場合の LAN DISK CONNECT のインストール方法

※以下の方法では、LAN DISK CONNECT のバージョンが古い場合があります。できるだけ上記 Web ペー ジからのインストールをご利用ください。

① 画面左下付近にある 🦳 (エクスプローラー) をクリック

- ② [ネットワーク] をクリック
- ③ 記憶域の [landisk-xxxxx] をダブルクリック
- ※「デバイスドライバーソフトウェアをインストールしています」と表示された場合は、再度アイコンを ダブルクリックしてください。
- ※「記憶域」や [LANDISK-xxxxx] が表示されない場合は、

サポート Q&A (Web) をご確認ください。

https://www.iodata.jp/support/ganda/answer/s20119.htm=?

- ④ [セットアップスタート] をクリックする
- この後、画面の指示にしたがってインストールを完了します。

次に【IP アドレスを固定設定する場合】(21ページ)へお進みください。

IP アドレスを固定設定する場合

本製品の IP アドレスを固定設定にする場合は、以下の手順で設定してください。 ※本製品の設定画面でも設定できます。



次に、【設定画面を開く】(22ページ)へお進みください。

基本的な使い方

ランプと対処

資料

設定画面を開く



LAN DISK CONNECT を使用しない場合

● Web ブラウザーの URL 欄に「http://(本製品の IP アドレス)」と入力することで開けます。 初期値の例) http://192.168.0.200 ※この場合、パソコンの IP アドレスを 192.168.0.xxx など同じセグメントに設定してください。

次に、【管理者パスワード設定と初期設定をする】(23ページ)へお進みください。

管理者パスワード設定と初期設定をする

はじめて設定画面を開いた時は、最初に管理者(ユーザー名:admin)のパスワー ドを設定し、初期設定へ進みます。





次に【NarSuS 登録をする】(25ページ)へお進みください。

NarSuS 登録をする

NarSuS(ナーサス)とは?

「NarSuS(ナーサス)」とは、製品の状態をインターネット経由で管理できるクラウド管理機能です。 お客様に代わって NarSuS データセンターが製品の状態を把握し、万が一の障害をいち早く察知し通知しま す。

● 製品と離れたところからでも状態を確認

Web 上の管理画面なので、どこからでも状態を確認できます。

● トラブル時にすばやくメールでお知らせ 製品にトラブルが発生したら、NarSuS データセンターが 状態を察知し、NarSuS データセンターからメールで トラブルをお知らせします。



● トラブル対処ガイダンス

トラブル発生の際に状況に合わせた対応ガイドを表示します。 イラストつきのガイドにしたがって操作するだけで、 難しいバックアップの再構築やカートリッジ交換など、 迷うことなく対処できます。



● セキュリティへの配慮

NarSuS の通信は、製品から NarSuS データセンターへ、HTTPS で暗号化された一方通行の送信をおこなっています。 そのため NarSuS データセンター側から、直接製品に接続することはありません。また、製品から送信するデータは、 製品の稼働情報のみであり、利用されているユーザーの情報やユーザーデータ(ファイルなど)が送信されることは ありません。

NarSuS のご利用環境

● 対象製品の設置環境
 インターネット接続可能な環境でご利用いただけます。
 ※ https で通信するため、ポート 443の解放が必要です。
 ※ NarSuS は、IPv4 ネットワークでのみ使えます。

● 対象製品の設置環境

以下の各 Web ブラウザーの最新バージョンをご利用ください。

・Internet Explorer (IE8 以上) ・Chrome ・Firefox ・Safari ・Microsoft Edge

方

使う前に

基本的な使い

方

便利な使い方

ランプと対処

資料





プロキシサーバーの設定



- 4 画面の指示にしたがって、必要事項を入力し登録する ※本製品はLANポートが複数ありますが、「MAC1」のMACアドレスを入力してください。
- 5 登録が完了したら、Web ブラウザーを閉じる

26

登録通知メールが送付されますので、保管しておいてください。 以上で NarSuS 登録は完了です。



使う前に

基本的な使い方

ファームウェアの更新について確認する

制限事項

内蔵ボリュームの再構築中は、ファームウェアの更新はできません。この場合再構築が完了してからお試しください。

●本製品がインターネットに接続できる場合

本製品は、ファームウェアの自動更新機能が有効に設定されています。 そのため、常に最新のファームウェアでお使いいただけます。

●本製品がインターネットに接続できない場合

1 本製品の最新ファームウェアを入手する

最新ファームウェアの更新方法 以下の弊社 Web ページにアクセスし、本製品の型番で検索します。 https://www.iodata.ip/lib/

2 本製品の設定画面を開く

※【設定画面を開く】(22 ページ)参照





本製品が再起動し、STATUS ランプが緑点灯に変われば完了です。 次に、ステップ3へお進みください。

ステップ3:アクセス権を設定する

パソコンから本製品にアクセスするために必要なユーザーを作成します。 共有フォルダーへのアクセス権は、ユーザー・グループごとに設定できます。また、 ユーザーに関係なく共有フォルダーを読み取り専用に設定できます。

アクセス権の種類

ユーザーに設定できるアクセス権は「読み取り」、「読み書き」、「禁止(アクセス禁止)」の3つです。

登録するユーザーについて

ネットワーク(パソコン)にログオンする際の [ユーザー名] と [パスワード] で登録すると、本製品への アクセス時にユーザー名とパスワードの入力が不要になります。





パソコンからアクセスする

USB HDD

※専用フォーマット済み

使う前に

基本的な使い

方

● Mac の場合



「データを守る(バックアップ)

同じデータを2か所に保存することで、万一の故障や人為的なミスなどで、 一方のデータが失われても、残った方のデータを使えます。 不測の事態に備えるために、バックアップしておくことをおすすめします。





以上で、指定した日時に履歴差分バックアップが実行されます。

使う前に

基本的な使い方

便利な使い方

ランプと対処

資料

| データを守る(ゴミ箱機能)

本製品上のファイルを削除すると、OSのゴミ箱などに入らずにそのまま消えてしまいます。ゴミ箱機能を使うと、ファイルを削除してもすぐにファイルがなくならず、いったん [trashbox] フォルダーに保管されます。

ゴミ箱機能使用上のご注意

- Windows ファイル共有 (SMB) で削除した場合にだけ [trashbox] フォルダーに保管されます。 Remote Link Files などで削除した場合は保管されずに削除されます。
- [trashbox] フォルダー内のファイルは、自動的に消去されません。定期的に [trashbox] フォルダー 内のファイルを削除してください。
- ご利用のアプリケーションによっては、その動作中にファイル作成→削除を繰り返すものがあります。 結果、[trashbox] フォルダー内のファイルが大幅に増えることがあります。
- ゴミ箱機能を無効にした場合には、[trashbox] フォルダーは削除され、[trashbox] 内のファイルは 完全に消去されます。

●ゴミ箱機能を有効にする

手順例では、共有フォルダー「disk1」のゴミ箱機能を有効にします。



以上で、disk1のゴミ箱機能が有効になりました。



以上で、disk1 のゴミ箱が空になりました。

|機能を追加する(アドオンパッケージ)

本製品には、さらに別の機能を追加することができます。

パッケージ名	機能
Remote Link 3	外出先からインターネットを介してアクセス
レプリケーション	メイン機と予備機の共有フォルダーを同期し、同じ状態に保つ
クローン	マスター機の設定やファイルをスレーブ機に保存
ESET File Security	ESET(イーセット)社の NAS 向けウイルス対策ソリューション「ESET
	File Security」を適用
H/X/AA/XR/XV 移行	弊社製 HDL-H、X、AA、AAW、XR、XV の各シリーズから本製品にデータ
	や設定を移行

▼最新情報、オフライン環境での追加方法はこちら

https://www.iodata.jp/product/nas/info/landisk/hdl-h_package.htm



●パッケージの追加方法



以上で、パッケージが追加されました。 ご利用方法は、『詳細ガイド』(Web)をご覧ください。(次ページのリンク先参照)

機能一覧

本製品には以下の機能があります。 詳しい設定方法は『詳細ガイド』(Web)をご覧ください。



https://www.iodata.jp/lib/manual/hdl-xa_manual/

Manual Control

目的ガイド

◇共有フォルダー関連

[マニュアル内検索] をご利用ください –

『詳細ガイド』(Web) にある [マニュアル内検索] に

以下の詳細ガイド 検索ワードを入力してご覧ください。

機能(目的)	使用・設定方法	詳細ガイド 検索ワード
ユーザー、グループを追加する		共有・アクセス権設定
共有フォルダーを追加する	ра ра ра ра ра ра ра ра ра ра	
削除したファイルを一時的に保管す る	共有の追加・変更で設定	ゴミ箱機能
使う容量を制限する	227L D-L'ABE	
ユーザーの使用量を制限する	□-∀-8𝒯h−𝒯 ▶ □-𝑘− ▶ ▲	穴是制阳
グループの使用量を制限する		公里向兆
フォルダーの使用量を制限する	共有 フォルター 使用服制限	
CSV ファイルを利用して共有を一 括登録	-K288 -K288	CSV 一括登録

◇パッケージ(追加機能)



使う前に

基本的な使い方

便利な使い方

ランプと対処

資料

◇バックアップ関連

機能(目的)	使用・設定方法	詳細ガイド 検索ワード
バックアップ (履歴差分バックアッ プ)	7-9/(v07v3 Image: Construction of the second s	バックアップ
フォルダー構成を保持したデータコ ピー	F−9/(907937) F−924-	データコピー
USB メモリーのデータを自動コ ピー	(初期設定) USB ポート 1 につなぐ	クイックコピー
別のカートリッジに複製(ミラーリ ング)		ミラーリング
USB HDD をつなぐ	(初期設定) USB ポート 1 以外につなぐ	USB HDD を増設する
USB HDD をフォーマットする	(USB HDD をつないだポート	USB HDD のフォーマット

◇ RAID モード・暗号化・iSCSI

RAID モードを変更する 暗号化する	RAID モード 暗号化設定
暗号化のためのロックキーを管理す る	キーサーバー
iSCSI ターゲットを作成する	iSCSI

◇ログ・通知関連

本製品に対する操作の履歴(ログ) を確認する	【〕 編4-ログ表示 アクセスログ	アクセスログ
システム動作の履歴(ログ)を確認 する	● 編4-ログ表示 システムログ	システムログ
メールで各種通知をおこなう	227L D	通知設定

◇その他、本製品の設定関連

機能(目的)	使用・設定方法	詳細ガイド 検索ワード	
HDD/SSD にエラーがないか確認す る	Image: Wight and the second	エラーチェック	使う前に
ネットワーク上の名前を変更する	2271 BERIRE	名前設定	
日付と時刻を設定する	227L • HIRE	時刻設定	二本的な使
IP アドレスなどを設定する	xyr⊃-2 LAN1 ► IPv4	ネットワーク	い方
プロキシを利用する場合の設定をす る	ネットワーク	プロキシ設定	便利な
管理者パスワードを変更する	システム システム 家庭者設定	管理者設定	は使い方
サブ管理者を設定する	システム システム サブ管導音応定	サブ管理者設定	
電源を切る / 再起動する	2274 R R R R R R R R R R R R R R R R R R R	シャットダウン	ノンプと対応
起動 / 終了時刻を設定する	227L • 27	スケジュール設定	<u>xe</u>
停電復帰時に自動で電源を入れる	レステム レステム レステム レステム マステム マステステ	AC 電源連動設定	資料
電力消費を抑える	2271 R R R R R R R R R R R R R R R R R R R	省電力設定	
FUNC. ボタンを無効にする	2374 FUNC.	FUNC. ボタン設定	
RESET ボタンを無効にする	2274 K 852 9274 K 852	リセットボタン設定	
ランプの明るさを調節する		ランプ設定	
正常に動作していることを確認する	227L ACTOR	自己診断	

機能(目的)	使用・設定方法	詳細ガイド 検索ワード
ファームウェアの更新設定を変更す る	2275A → 77-A927 ₩ ₩	ファームウェアを更新
本製品を出荷時設定に戻す	システム システム 相称	初期化
UPS を増設し、UPS 関連の各設定 をおこなう	227A R R UPS	UPS をつなぐ
Active Directory ヘログオンする	A 1−7−8.7/h−7 Microsoftネット-7−2%82	Active Directory

ランプと対処

 万一に備えて、定期的にバックアップしてください ● RAID 構成が崩壊した本製品のデータを復旧することはできません。 事前にバックアップ設定をして、万が一の故障に備えてください。【データを守る(バックアップ)】(33 ページ) 	使う前に
その他、困ったときには ▼よくあるお問い合わせ https://www.iodata.jp/support/qa/landisk/hdlxa/	基本的な使い方
故障と思ったら… ランプとブザーの状況を組み合わせて、状態と対処を確認します。	便利な使い方
STATUS ランプの状況から絞り込んでいきます。	ラン

	STATUS ランプは消灯している ・	•	•	•	•	•	•••	•	•	•	•	•	•	•	•	•	42	
►	STATUS ランプは緑点滅している	•	•	•	•	•	•••	•	•	•	•	•	•	•	•	• .	42	
▶	STATUS ランプは緑点灯している	•	•	•	•	•	•••	•	•	•	•	•	•	•	•	• •	42	
	STATUS ランプは赤点灯している	•	•	•	•	•	•••	•	•	•	•	•	•	•	•	• .	43	
►	STATUS ランプは赤点滅している	•	•	•	•	•	•••	•	•	•	•	•	•	•	•	• 4	44	

鳴り続くブザーの止め方 FUNC. ボタンを押してください。

STATUS ランプは消灯している

本製品の電源が入っていません。 電源コードを確認の上、本製品を起動してください。

STATUS ランプは緑点滅している

起動中やシャットダウン中、システム処理中(設定反映中、ファームウェア更新 中など)です。 点灯(シャットダウンの場合は消灯)するまでお待ちください。

STATUS ランプが緑点滅でアクセスできない場合は、サポート Q&A(Web)をご確認ください https://www.iodata.jp/support/qanda/answer/s17483.htm=?

STATUS ランプは赤点灯している

お知らせする内容があります。

なし ● お知らせがある ⇒ 設定画面を開き、画面左上の「通知」または【情報・ログ表示】→【お知らせ】 をご確認ください。▶【設定画面を開く】(22 ページ) ピー×3 記防閉 ● IP アドレスを取得できない ⇒ IP アドレスを取得できない ⇒ IP アドレスを取得できない ⇒ IP アドレスが取得できていない場合】(43 ページ) ● インターネットに接続できない ⇒ インターネットにつながない場合、インターネットを使う機能 を無効化してください。 カートリッジや USB HDD を取付時 ● 正しく認識していない ⇒ 取り付け直してください。解決しない場合は、取り付けたカートリッジや USB HDD が故障、容量不足、非対応フォーマットです。 クイックコビー時 ● コピーできなかった ⇒ [情報・ログ表示] → [システムログ] をご確認ください。 っないだカメラやメモリーに非対応の場合もあります。 設在変更 に失敗した ⇒ [情報・ログ表示] → [システムログ] をご確認ください。	ブザー音	状態と対処	
 ⇒ 設定画面を開き、画面左上の「通知」または「情報・ログ表示]→「お知らせ」 をご確認ください。♪【設定画面を開く】(22 ページ) ピー×3 ビアドレスを取得できない ⇒ LAN ケーブルをつなぎ直し、再起動してください。 ⇒ IP アドレスを取得できない ⇒ LAN ケーブルをつなぎ直し、両起動してください。 ⇒ IP アドレスを取得できない ⇒ IP アドレスを取得できない。 ⇒ IP アドレスを取得できない ⇒ IP アドレスを取得できない。 > IP アドレスを取得できない。 ⇒ IP アドレスを取得できない。 ⇒ IP アドレスを取得できない。 ⇒ IP アドレスを取り取得できていない場合】(43 ページ) ● インターネットに支続できない。 ● インターネットにつながない場合、インターネットを使う機能 を無効化してください。 ● 正しく認識していない ● 正しく認識していない ● 取り付け直してください。解決しない場合は、取り付けたカートリッジや USB HDD が故障、容量不足、非対応フォーマットです。 ● ロビーできなかった ● [情報・ログ表示] → [システムログ] をご確認ください。 っないだカメラやメモリーに非対応の場合もあります。 ● 設定変更に失敗した ⇒ [情報・ログ表示] → [システムログ] をご確認ください。 	なし	● お知らせがある	
をご確認ください。▶【設定画面を開く】(22 ページ) ビー×3 ● IP アドレスを取得できない ⇒ LAN ケーブルをつなぎ直し、再起動してください。 ⇒ IP アドレスを手動で設定し、固定してください。 ▶ [IP アドレスが取得できていない場合](43 ページ) ● インターネットに接続できない ⇒ インターネットに接続できない ⇒ インターネットにでながない場合、インターネットを使う機能 を無効化してください。 ● 正しく認識していない ⇒ 取り付け直してください。解決しない場合は、取り付けたカートリッジや USB HDD が故障、容量不足、非対応フォーマットです。 ● コピーできなかった ⇒ [情報・ログ表示] → [システムログ]をご確認ください。 っないだカメラやメモリーに非対応の場合もあります。 ● 設定変更に失敗した ⇒ [情報・ログ表示] → [システムログ]をご確認ください。		⇒ 設定画面を開き、画面左上の 「通知」 または [情報・ログ表示] → [お知らせ]	
 ピー×3 ● P アドレスを取得できない ↓ LAN ケーブルをつなぎ直し、再起動してください。 ⇒ IP アドレスを取動で設定し、固定してください。 ⇒ IP アドレスが取得できていない場合】(43 ページ) → インターネットに接続できない → インターネットに接続できない ⇒ インターネットにでながない場合、インターネットを使う機能 を無効化してください。 ● ロンターネットにつながない場合、インターネットを使う機能 を無効化してください。 ● ロンターネットにつながない場合、インターネットを使う機能 を無効化してください。 ● ロンターネットにつながない場合、インターネットを使う機能 を無効化してください。		をご確認ください。▶【設定画面を開く】(22 ページ)	
 ● IP アドレスを取得できない ⇒ LAN ケーブルをつなぎ直し、再起動してください。 ⇒ IP アドレスを手動で設定し、固定してください。 ▶ [IP アドレスが取得できていない場合] (43 ページ) ● インターネットに接続できない ⇒ インターネットに接続できない ⇒ インターネットにつながない場合、インターネットを使う機能を無効化してください。 ● エレく認識していない ⇒ 取り付け直してください。解決しない場合は、取り付けたカートリッジやUSB HDD を取付時 ● 正しく認識していない ⇒ 取り付け直してください。解決しない場合は、取り付けたカートリッジやUSB HDD が故障、容量不足、非対応フォーマットです。 ● コピーできなかった ⇒ [情報・ログ表示] → [システムログ] をご確認ください。 っないだカメラやメモリーに非対応の場合もあります。 ● 設定変更に失敗した ⇒ [情報・ログ表示] → [システムログ] をご確認ください。 	ピ−×3	起動時	
 ⇒ LAN ケーブルをつなぎ直し、再起動してください。 ⇒ IP アドレスを手動で設定し、固定してください。 ▶ 【IP アドレスが取得できていない場合】(43 ページ) ◆ インターネットに接続できない ⇒ インターネットにつながない場合、インターネットを使う機能を無効化してください。 カートリッジや USB HDD を取付時 ● 正しく認識していない ⇒ 取り付け直してください。解決しない場合は、取り付けたカートリッジやUSB HDD が故障、容量不足、非対応フォーマットです。 クイックコピー時 ● コピーできなかった ⇒ 【情報・ログ表示】 → [システムログ]をご確認ください。 っないだカメラやメモリーに非対応の場合もあります。 設定変更に失敗した ⇒ 【情報・ログ表示】 → [システムログ]をご確認ください。 		● IP アドレスを取得できない	
 ⇒ IP アドレスを手動で設定し、固定してください。 ▶ [IP アドレスが取得できていない場合](43 ページ) ● インターネットに接続できない ⇒ インターネットにつながない場合、インターネットを使う機能を無効化してください。 かートリッジや USB HDD を取付時 ● 正しく認識していない ⇒ 取り付け直してください。解決しない場合は、取り付けたカートリッジやUSB HDD が故障、容量不足、非対応フォーマットです。 ● コピーできなかった ⇒ [情報・ログ表示] → [システムログ]をご確認ください。 っないだカメラやメモリーに非対応の場合もあります。 ● 設定変更に失敗した ⇒ [情報・ログ表示] → [システムログ] をご確認ください。 		⇒ LAN ケーブルをつなぎ直し、再起動してください。	
 ▶ [IP アドレスが取得できていない場合](43 ページ) ● インターネットに接続できない ⇒ インターネットにつながない場合、インターネットを使う機能を無効化してください。 カートリッジや USB HDD を取付時 ● 正しく認識していない ⇒ 取り付け直してください。解決しない場合は、取り付けたカートリッジやUSB HDD が故障、容量不足、非対応フォーマットです。 ● コピーできなかった ⇒ [情報・ログ表示] → [システムログ]をご確認ください。 っないだカメラやメモリーに非対応の場合もあります。 ● 設定変更に失敗した ⇒ [情報・ログ表示] → [システムログ]をご確認ください。 		⇒ IP アドレスを手動で設定し、固定してください。	
 インターネットに接続できない → インターネットにつながない場合、インターネットを使う機能を無効化してください。 カートリッジや USB HDD を取付時 ● 正しく認識していない 		▶【IP アドレスが取得できていない場合】 (43 ページ)	
 ⇒ インターネットにつながない場合、インターネットを使う機能を無効化してください。 カートリッジや USB HDD を取付時 ● 正しく認識していない ⇒ 取り付け直してください。解決しない場合は、取り付けたカートリッジやUSB HDD が故障、容量不足、非対応フォーマットです。 クイックコピー時 ● コピーできなかった ⇒ [情報・ログ表示] → [システムログ] をご確認ください。 っないだカメラやメモリーに非対応の場合もあります。 ● 設定変更に失敗した ⇒ [情報・ログ表示] → [システムログ] をご確認ください。 		● インターネットに接続できない	
を無効化してください。 カートリッジや USB HDD を取付時 ● 正しく認識していない ⇒ 取り付け直してください。解決しない場合は、取り付けたカートリッジや USB HDD が故障、容量不足、非対応フォーマットです。 クイックコピー時 ● コピーできなかった ⇒ [情報・ログ表示] → [システムログ] をご確認ください。 っないだカメラやメモリーに非対応の場合もあります。 設定変更 に失敗した ⇒ [情報・ログ表示] → [システムログ] をご確認ください。		⇒ インターネットにつながない場合、インターネットを使う機能	
box bulk box bulk		を無効化してください。	
 ● 正しく認識していない ⇒ 取り付け直してください。解決しない場合は、取り付けたカートリッジや USB HDD が故障、容量不足、非対応フォーマットです。 クイックコピー時 コピーできなかった ⇒ [情報・ログ表示] → [システムログ] をご確認ください。 っないだカメラやメモリーに非対応の場合もあります。 設定変更時 設定変更に失敗した ⇒ [情報・ログ表示] → [システムログ] をご確認ください。 		カートリッジや USB HDD を取付時	
 ⇒ 取り付け直してください。解決しない場合は、取り付けたカートリッジや USB HDD が故障、容量不足、非対応フォーマットです。 Эピーできなかった ⇒ [情報・ログ表示] → [システムログ] をご確認ください。 っないだカメラやメモリーに非対応の場合もあります。 設定変更時 ● 設定変更に失敗した ⇒ [情報・ログ表示] → [システムログ] をご確認ください。 			
USB HDD が故障、容量不足、非対応フォーマットです。 クイックコピー時 ● コピーできなかった ⇒ [情報・ログ表示] → [システムログ] をご確認ください。 っないだカメラやメモリーに非対応の場合もあります。 設定変更時 ● 設定変更に失敗した ⇒ [情報・ログ表示] → [システムログ] をご確認ください。		⇒ 取り付け直してください。解決しない場合は、取り付けたカートリッジや	
 クイックコピー時 コピーできなかった ○ [情報・ログ表示] → [システムログ] をご確認ください。 つないだカメラやメモリーに非対応の場合もあります。 設定変更時 ③ 設定変更に失敗した ⇒ [情報・ログ表示] → [システムログ] をご確認ください。 		USB HDD が故障、容量不足、非対応フォーマットです。	
 			
 コピーできなかった ⇒ [情報・ログ表示] → [システムログ] をご確認ください。			
 ⇒ [情報・ログ表示] → [システムログ] をご確認ください。 つないだカメラやメモリーに非対応の場合もあります。 設定変更時 ● 設定変更に失敗した ⇒ [情報・ログ表示] → [システムログ] をご確認ください。 			
りないたガメラやメモリーに非対応の場合もあります。 <u>設定変更時</u> ● 設定変更に失敗した ⇒ [情報・ログ表示] → [システムログ] をご確認ください。		⇒ 【情報・Uク表示】→ 【ジステムUク】をご確認ください。	
 設定変更時 ● 設定変更に失敗した ⇒ [情報・ログ表示] → [システムログ] をご確認ください。 		うないにカメラやメモリーに非対応の場合もあります。	
● 設定変更に失敗した ⇒ [情報・ログ表示] → [システムログ] をご確認ください。		設定変更時	
⇒ [情報・ログ表示] → [システムログ] をご確認ください。			
		⇒ [情報・ログ表示] → [システムログ] をご確認ください。	

STATUS ランプは緑点灯している

正常に動作しています。

ブザー音	状態と対処
なし	● 正常な状態
ピッ	 ● 正常に起動した
	● USB HDD を取り付け、正常に認識した
	● 各種設定を反映した
	● クイックコピー / ボリューム設定変更などに成功した
ピッ×3	● フォーマット / チェックディスク / バックアップ / クイックコピーに成功した
ピー×3	● 設定変更に失敗した
	⇒ 設定画面に入力した内容をご確認ください。
	問題ない場合は、しばらく待ってから再度試してください。
ドミソド×3	● カートリッジの交換後、ボリュームの再構築に成功した

IPアドレ	マスが取得できていない場合							
本製品起	動時に、STATUS ランプが赤点灯し、ブザー音がピー× 3 鳴った場合							
DHCPサ	ーバーから IP アドレスを取得できなかったか、本製品がインターネットに接続できていません。							
以下の対応	処をお試しください。							
対処 1	LAN ケーブルを抜き差ししてください。							
対処 2	スイッチングハブ、本製品、(ある場合)DHCP サーバーを再起動してください。							
対処 3	DHCP サーバーが無い場合、本製品の IP アドレスを固定設定にしてください。							
	①【導入用ソフトウェアをインストールする】(20 ページ)を参照し導入用ソフトウェアを							
	インストールする							
	②【IP アドレスを固定設定する場合】(21 ページ)を参照し設定する							
※本製品	の LAN 1ポートは DHCP サーバーから IP アドレスを取得できない場合、「192.168.0.200」を							
持ちま	すので、直接設定画面を開いて IP アドレスを固定することもできます。							

STATUS ランプは赤点滅している

重大なエラーが発生しています。

データにアクセスできる場合は、万が一のためにデータのバックアップをお取りください。

ブザー音	状態と対処
なし	● 何らかの警告がある
	⇒ 設定画面を開き、[情報・ログ表示]→[お知らせ]または[システムログ]
	をご確認ください。▶【設定画面を開く】(22 ページ)
ドレミ (鳴り続く)	●(UPS 警告が有効時)UPS がつながっていない または 停電状態
ピッピピッ	●(使用量警告が有効時)使用量制限値に達した
[鳴り続く]	⇒ 設定画面を開き、画面左上の 「通知」 または [情報・ログ表示] → [お知らせ]
	をご確認ください。
ピッピッ	HDD/SSD ランプのどれかが赤点滅または消灯
鳴り続く)	● 赤点滅 / 消灯しているカートリッジが故障している
	⇒ データのバックアップを取り、赤点滅 / 消灯しているカートリッジを交換し
	てください。▶【カートリッジの交換方法】 (45 ページ)
	HDD/SSD ランプの全てが緑占灯
	● 03b TIDD とこ ノー リンノ 設定 0 C 85 り、 C 00 03b TIDD か 取 厚 み たは 木技 航 にたっている
	→ LISB HDD の仕能をご確認ください
°+°	
- ^^ 鳴り続く)	● NAID 朋友した(孤張ホリューム以外に設定時) HDD/SSD ランプが赤方河 / 消灯しているカートしいジが対応している
	100/350 シングが永元歳、月内のといるカートシタンが政権のといる
	※ が示力しているカートラックは正常です。 ▶ 【PAID が崩壊していたら…】 (44 ペーミ))
~_ L^	 ■ お野工工具 ■ お子野工具 ■ お子野工具
	● 地到小り仏窓 → 内芽ボリュー しの思 やかいフェレ 思労が発 たしています
	→ 内蔵ホリュームの共吊かンステム共吊が先生しています。
	弊社修理センターに述りしてくたさい。

RAID が崩壊していたら…

本製品の RAID モードを拡張ボリューム以外に変更していた場合は、RAID 崩壊の可能性があります。 この場合の対処方法は、『詳細ガイド』(Web)の【困った時には】→【故障と思ったら…> RAID が崩壊し たときには】をご確認ください。

https://www.iodata.jp/lib/manual/hdl-xa_manual/index.html#p80_3



カートリッジ交換時のご注意

- ●本製品のカートリッジは、故障時以外には取り外さないでください。不用意に取り外すと冗長性が失われたり、RAID構成が崩壊してすべてのデータを失う危険があります。
- 拡張ボリュームで容量を増やす方法は、詳細ガイドをご覧ください。
- ●必ず本製品の電源が入っている状態で、カートリッジの取り付け / 取り外しをおこなってください。この とき、STATUS ランプの点灯状況や、該当カートリッジの HDD/SSD ランプが赤点滅(赤点灯でなく) または消灯していることを確認した上で取り外してください。
- ●カートリッジの交換の前に必要なデータはバックアップしてください。
- ●カートリッジの取り付け・取り外しは、必ず1台ずつ、以下の説明通りにおこなってください。

対応カートリッジ

【交換用カートリッジ、対応外付 HDD/UPS】(9 ページ)をご覧ください。

動画でもご確認ください 弊社サポート Q&A にて、交換方法を動画で説明しています。

https://www.iodata.jp/support/qanda/answer/s30539.htm=?

ランプと対処

使う前に

基本的な使い方

便利な使い方

資料



2 本製品の電源が入っていない場合は、電源を入れる



①取り付けるカートリッジの 着脱レバーを固定されるま

② ()を押し、カートリッジを スロットの奥まで挿入する

必要以上の力を加えない

カートリッジを押しこむ際は、必要以 上の力を加えないでください。故障の

③着脱レバーが"カチッ"と なるまで下ろす



ダウンロードできるソフト

本製品の使用には必須ではありません。必要に応じてダウンロードしてください。 使用方法については、各ソフトのマニュアルをご覧ください。

弊社 Web ページ「サポートライブラリ」から、ダウンロードできるソフト

▼サポートライブラリ

https://www.iodata.jp/lib/

※本製品の型番で検索してください。

ソフト名	詳細
LAN DISK Admin	LAN DISK を複数台導入した場合の設定を一括で管理することができます。
LAN DISK Restore	設定データをコピーして流用することで、複数台導入時の初期設定を省力化する ことができます。
LAN DISK Key Server	ボリュームの暗号化機能により USB メモリーに保存されたキーをサーバー上に保存して、このサーバーをロックキーの代わりとして利用するソフトウェアです。 本製品の起動の度にロックキーを接続する作業が不要になり、ロックキーを安全 な場所に常に保存しておくことができます。
LAN DISK Backup Reader	本製品が故障し、専用フォーマットの USB HDD からバックアップファイルが読 み出せない場合に、パソコンからデータを読み出すことができます。
Sight On	メールソフト感覚の簡単操作で、ユーザーによるファイル更新を知ることができ ます。ファイル更新時にポップアップで通知します。

資料

ランプと対処

使う前に

基本的な使い方

便利な使い方



|ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定(以下「本保証規定」といいます。)に明示した条件のもとにおいて、ア フターサービスとして、弊社製品(以下「本製品」といいます。)の無料での修理または交換をお約束するものです。

1 保証内容

取扱説明書(本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。)等にしたがった正常な使用状態で故障した場合、ハードウェア 保証書をご提示いただく事によりそこに記載された期間内においては、無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いた します。

2 保証対象

保証の対象となるのは弊社が提供する最新のファームウェア、またはソフトウェアを適用した本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

3 保証対象外

- 以下の場合は保証の対象とはなりません。
- 1) 保証書に記載されたご購入日から保証期間が経過した場合
- 2) 修理ご依頼の際、ハードウェア保証書のご提示がいただけない場合
- 3) ハードウェア保証書の所定事項(型番、お名前、ご住所、ご購入日等(但し、ご購入日欄については、保証期間が無期 限の製品は除きます。))が未記入の場合または字句が書き換えられた場合
- 4) 中古品でご購入された場合
- 5) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
- 6) お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
- 7) 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
- 8) 取扱説明書等に記載の使用方法または注意書き等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
- 9) 合理的使用方法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
- 10)弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた場合
- 11) 弊社が寿命に達したと判断した場合
- 12) 保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
- 13) その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

4 修理

- 修理を弊社へご依頼される場合は、本製品とご購入日等の必要事項が記載されたハードウェア保証書を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
- 2) 発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
- 3) 本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップとして別の記憶媒体にデータを複製してください。
- 4) 弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜 処分いたしますので、お客様へはお返しいたしません。

5 免責

- 本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等について、弊社 は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
- 2)弊社に故意または重過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相 当額を限度といたします。
- 3) 本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

6 保証有効範囲

弊社は、日本国内のみにおいてハードウェア保証書または本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用に つきましては、弊社はいかなる保証も致しません。

Our company provides the service under this warranty only in Japan.

【使用ソフトウェアについて】

本製品には、GNU General Public License Version3 (GPL v 3) に基づいた、ソフトウェアが含まれています。 変更済み GPL 対象モジュール、GNU General Public License、及びその配布に関する条項については、以 下の Web ページをご確認ください。

https://www.gnu.org/licenses/gpl-3.0.ja.html

これらのソースコードで配布されるソフトウェアについては、弊社ならびにソフトウェアの著作者は一切のサ ポートの青を負いませんのでご了承ください。

【ご注意】

- 1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
- したがって、別段の定めの無い限り、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。 2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、
- 3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.) 4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかからず責任は負いかねますのでご了承ください。

記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

HDL4-XA-U シリーズ LAN DISK 管理マニュアル
 発行株式会社アイ・オー・データ機器

【マニュアルアンケート】



ハードウェア保証書

型 番	HDL4-XA-Uシリーズ	販	ご購入日 住所・店名
保証期間	ご購入日より 3 年間有効です	売店	印 TEL () -
	^{Ujið} % 名前 L () − □□□−□□□□ 住所	 1. 2. 取し本タ	ご販売店様へ お客様へ商品をお渡しする際は必ず販売日をご購入日欄に 記入し貴店名/住所、貴店印をご記入ご捺印ください。 記載漏れがありますと、保証期間内でも無償修理が受けられ ません。 3.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2
「ハードウ: 記入漏れた 販売店欄は お申し出く また、本保	ェア保証規定」をご確認の上、☆印の箇所に楷書で明確にご記入ください。 がありますと、保証期間内でも無料修理が受けられませんのでご注意ください。 は販売店でご記入いただくものです。記入がない場合はお買い上げの販売店に ださい。 証書は再発行いたしませんので紛失しない様大切に保管してください。	株会	- O DATA 滋 アイ・オー・データ機器

【技術動向、導入事例などについて】

次のサイトに、弊社製ネットワークハードディスク(NAS)「LAN DISK シリーズ」に 関するホワイトペーパーを掲載しています。必要に応じてご確認ください。

https://www.iodata.jp/biz/whitepaper/

【保守サービスのご案内】

アイオー・セーフティ・サービス(ISS)は、本製品をより長く安心してご利用いただ くために、万が一の場合の保守を実施する有償保守サービスです。 設置から、故障時の交換、ハードディスクのデータ復旧まで充実のサービスをご用意。 ワンストップでのサービスをご提供いたします。

https://www.iodata.jp/biz/iss/tokusetsu/





